

日本沙漠学会 第25回学術大会プログラム

場所: 東京都市大学・横浜キャンパス

大会概要

期日: 2014年5月31日(土)~6月1日(日)

場所: 東京都市大学横浜キャンパス/3号館2階

総会・公開講演会 : 32A 教室 研究発表会 : 32H 教室
ポスター発表会 : 33H 教室 理事会 : 32D 教室
沙漠誌分科会総会 : 32B 教室

開催スケジュール

5月31日(土)		6月1日(日)	
08:30~09:30	受付	09:00~10:15	研究発表会・セッション3
09:30~09:40	開会式	10:15~10:20	休憩
09:40~11:45	研究発表会・セッション1	10:20~11:10	学会賞受賞者記念講演
11:45~12:30	昼休み	11:15~12:00	研究発表会・セッション4
12:30~13:30	ポスター発表コアタイム	12:00~13:00	昼休み
13:30~14:30	総会・学会賞授賞式	13:00~14:45	研究発表会・セッション5
14:30~14:40	休憩	15:00~	閉会式
14:40~16:10	公開講演会		
16:10~16:20	休憩		
16:20~17:35	研究発表会・セッション2		
18:00~20:00	懇親会		

参加費

大会参加費 日本沙漠学会会員 : 4,000円
 学生会員 : 2,000円
 会員以外 : 8,000円
 (事前登録者については予稿集1冊含む)
予稿集 1冊 2,000円
公開講演会 無料

日本沙漠学会 第25回学術大会実行委員会

実行委員長 : 吉崎真司(東京都市大学)
実行委員 : 大西暁生、咸泳植(東京都市大学)
連絡先 : 吉崎真司

〒224-8551 横浜市都筑区牛久保西 3-3-1
東京都市大学環境学部
TEL: 045-910-2556 FAX: 045-910-2557
E-mail: jaals.2014@gmail.com

懇親会費 : 一人4,000円

【1日目】口頭発表 :2014年5月31日(土)午前

セッション1 (9:40~11:45) 座長：縄田浩志 (秋田大学)・森尾貴広 (筑波大学)			
NO	時刻	題 目 (○は発表申込者)	頁
O1	09:40-09:55	北アフリカ地域における高等教育の輸出産業化の可能性 ○森尾 貴広 筑波大学国際部、筑波大学北アフリカ研究センター	10
O2	09:55-10:10	南部アフリカ半乾燥地帯の小農による土地資源管理—ザンビア, シナゾングウ地域における家畜飼育の事例— ○石本 雄大、宮寄 英寿、田中 樹 総合地球環境学研究所	11
O3	10:10-10:25	衛星画像を利用したビクトリア湖の水生植物分布の時系列解析 ○伊東 明彦 ¹ 、石山 隆 ² ¹ 宇宙技術開発株式会社、 ² 千葉大学	13
O4	10:25-10:40	メスキートの降雨パルスに対する発芽と実生成長応答特性の評価 ○依田 清胤 ¹ 、宮脇 亮 ² 、辻 涉 ² 、齋藤 忠臣 ² 、M A Elbasit ³ 、A M Eldoma ⁴ 、星野 弘方 ⁵ 、縄田 浩志 ⁶ 、井上 知恵 ⁷ 、安田 裕 ⁷ ¹ 石巻専修大学理工学部生物科学科、 ² 鳥取大学農学部、 ³ GEMES Univ Johannesburg、 ⁴ Sudan Univ Sci Tech、 ⁵ 酪農学園大学環境システム、 ⁶ 秋田大学国際資源部、 ⁷ 鳥取大学乾燥地研究センター	15
O5	10:40-10:55	外来侵入植種メスキートの地下水吸水 ○安田 裕 ¹ 、依田 清胤 ² 、齋藤 忠臣 ¹ 、石山 俊 ³ 、縄田 浩志 ⁴ 、Mohamed A M Abd Elbasit ⁵ ¹ 鳥取大学、 ² 石巻専修大学、 ³ 総合地球環境学研究所、 ⁴ 秋田大学、 ⁵ ヨハネスブルグ大学	17
O6	10:55-11:10	SCS-CN 法に基づいたジブチ共和国の未観測流域における日流出量推定 ○広兼 達也、豊田 裕道、島田 沢彦、渡邊 文雄 東京農業大学大学院農学研究科	19
O7	11:10-11:25	ハードパン破碎手法が <i>Eucalyptus camaldulensis</i> の生存率におよぼす影響 ○菅沼 秀樹、 ¹ 宇都 木玄 ² 、高橋 伸英 ³ 、田原 聖隆 ⁴ 、江頭 靖幸 ⁵ 、小島 紀徳 ¹ ¹ 成蹊大学、 ² 森林総合研究所、 ³ 信州大学、 ⁴ 産業技術総合研究所、 ⁵ 大阪大学	21
O8	11:25-11:45	西オーストラリア州大規模植林地帯における土壌化学性及び炭素固定評価 ○酒井 祐司 ¹ 、庄司 博紀 ¹ 、小川 颯 ¹ 、平岡 由圭 ¹ 、菅沼 秀樹 ² 、加藤 茂 ² 、小島 紀徳 ² ¹ 工学院大学工学部、 ² 成蹊大学	23
昼休み：11:45-12:30			

【1日目】ポスターセッション :2014年5月31日(土) 終日

ポスターセッション・コアタイム：12:30-13:30

【1日目】総会及び学会賞授与式 :2014年5月31日(土)午後

総会及び学会賞授与式 13:30-14:30

【1日目】公開講演会 :2014年5月31日(土)午後

公開講演会	題 目
講演1 : 14:40-15:10	中国の生態環境補償 井村 秀文 横浜市立大学グローバル都市協力研究センター・特任教授
講演2 : 15:10-15:40	ウォーターフットプリントと水情報の見える化に関わる国際的動向 伊坪 徳宏 東京都市大学環境学部・教授
講演3 : 15:40-16:10	中国武漢・長江周辺域の水保全に向けた環境教育パッケージ教材の開発と人材育成 佐藤 真久 東京都市大学環境学部・准教授

【1日目】口頭発表 :2014年5月31日(土)午後

セッション2(16:20-17:35)座長:島田沢彦(東京農業大学)			
NO.	時刻	題 目 (○は発表申込者)	頁
O9	16:20-16:35	タクラマカン沙漠周辺の土地被覆の長期変動とその人間活動 ○石山 隆 千葉大学環境リモートセンシング研究センター	25
O10	16:35-16:50	新疆における食糧生産. 社会因子. 自然条件の関連性 ○シャオケイテイ アジ ¹ , デリヌル アジ ² , 近藤 昭彦 ³ ¹ 千葉大学大学院理学研究科, ² 新疆師範大学地理科学与旅遊学院 ³ 千葉大学環境リモートセンシング研究センター	27
O11	16:50-17:05	河西回廊地域の自然・土地利用と沙漠化対策への提言 ○周 建中 東京成徳大学人文学部	29
O12	17:05-17:20	衛星リモートセンシングによる中国内モンゴル自治区における植生変動とその要因解析 ○布和宝音(ブヘボイン) ¹ , 近藤 昭彦 ² ¹ 千葉大学大学院理学研究科, ² 千葉大学環境リモートセンシング研究センター	31
O13	17:20-17:35	中国内陸沙漠に生育する沙鞭(<i>Psammodictyon villosa</i>)を用いた防風・防砂の検討 ○深石 洋 ¹ , 吉崎真司 ² ¹ 株式会社パスコ, ² 東京都市大学	33
懇親会:18:00~ 学生ホール			

【2日目】口頭発表 :2014年6月1日(日)午前

セッション3(09:00-10:15)座長:関山絢子(東京農業大学)			
NO.	時刻	題 目 (○は発表申込者)	頁
O14	09:00-09:15	北西インド・ラージャスターン農村部における家畜飼養と資源利用 ○宮寄 英寿 ¹ , KP Singh ² , 遠藤 仁 ¹ , 田中 樹 ¹ ¹ 総合地球環境学研究所, ² ラージャスターン研究所 インド	35
O15	09:15-09:30	タミル ナードゥ州南部における小規模農民の農業変化と生業動態 ○ムニアディ ジェガディーサン ¹ , 宮寄 英寿 ² , 田中 樹 ² ¹ タミル ナードゥ農業大学, ² 総合地球環境学研究所	37
O16	09:30-09:45	カザフスタン南東部における農産物の輸入増加と施設栽培の導入 ○渡邊 三津子 ¹ , 古澤 文 ² ¹ 奈良女子大学 共生科学研究センター, ² 愛知大学国際中国学研究センター	39
O17	09:45-10:00	ウズベキスタン, Ustyurt 台地の Taqir タキール地形におけるソ連式帯水層形成試験について ○牛木 久雄	41
O18	10:00-10:15	北東アジア半乾燥草原における分光データのスケールアップについて ○平野 聡 独立行政法人国際農林水産業研究センター(JIRCAS)	43
休憩:10:15-10:20			

【2日目】学会賞受賞者記念講演 :2014年6月1日(日)午前

10:20-10:45	日本沙漠学会賞 学術論文賞 北村義信氏 題目:乾燥地における最適な水利用による食糧生産・環境保全に関する一連の研究
10:45-11:10	日本沙漠学会賞 奨励賞 石本雄大氏 題目:アフリカ半乾燥帯における小規模農民および牧民の生存戦略に関する研究
※いずれも、講演プログラムは当日配布	

【2日目】口頭発表 :2014年6月1日(日)午前

セッション4(11:15-12:00)座長:渡邊三津子(奈良女子大学)			
NO.	時刻	題目(○は発表申込者)	頁
O19	11:15-11:30	内モンゴル「半農半牧」地域における農地の大規模化経営とその問題点 ○永海 ¹ 、星野 弘方 ² 、ソリガ ¹ ¹ 酪農学大学大学院酪農学研究科、 ² 酪農学園大学	45
O20	11:30-11:45	マルチの被覆率が土壌面蒸発抑制に及ぼす影響 ○樫野 充 ¹ 、渡邊 文雄 ¹ 、鈴木 伸治 ¹ 、Hayat Khan Shams ² 、高橋 悟 ¹ ¹ 東京農業大学地域環境科学部、 ² 東京農業大学大学院農業工学専攻	47
O21	11:45-12:00	フィルムマルチの色が地温とトマトの収量に及ぼす影響 ○ハヤット カン シヤムス ¹ 、渡邊 文雄 ² 、鈴木 伸治 ² 、高橋 悟 ³ 、 米山 正博 ³ 、Said Jafar Hassani ⁴ ¹ 東京農業大学大学院、 ² 東京農業大学地域環境科学部、 ³ 公益社団法人国際農林業協働協会、 ⁴ アフガニスタン農業省国立農業研究所	49
昼休み:12:00-13:00			

【2日目】口頭発表 :2014年6月1日(日)午後

セッション5(13:00-14:45)座長:菅沼秀樹(成蹊大学)・鈴木伸治(東京農業大学)			
NO.	時刻	題目(○は発表申込者)	頁
O22	13:00-13:15	2013年3月の三宅島・御蔵島および5月の志摩半島南方での液体炭酸人工降雨実験 ○真木 太一 ¹ 、守田 治 ² 、鈴木 義則 ³ 、西山 浩司 ⁴ 、脇水 健次 ⁵ ¹ 国際農林水産業研究センター、 ² 福岡大学環境未来オフィス、 ³ 九州大学名誉教授、 ⁴ 九州大学工学研究院、 ⁵ 九州大学農学研究院	51
O23	13:15-13:30	愛媛県西条市・新居浜市付近での液体炭素人工降雨実験 ○真木 太一 ¹ 、守田 治 ² 、西山 浩司 ³ 、鈴木 義則 ⁴ 、脇水 健次 ⁵ ¹ 国際農林水産業研究センター、 ² 福岡大学環境未来オフィス、 ³ 九州大学工学研究院、 ⁴ 九州大学名誉教授、 ⁵ 九州大学農学研究院	53
O24	13:30-13:45	雨滴衝撃の微粒子飛散に対するフミン酸塩の耐水性団粒化による抑制効果に関するPIV解析 ○矢沢 勇樹、浅川 友佑、武田 弘 千葉工業大学	55
O25	13:45-14:00	トラフ型集光器と真空断熱ガラス管を用いた蒸留式淡水化装置に関する研究 ○百崎 太郎 ¹ 、田川公 太郎 ¹ 、實野 孝久 ² ¹ 鳥取大学地域学研究科地域創造専攻、 ² 大阪大学レーザー研	57
O26	14:00-14:15	沙漠地帯における淡水化農業の可能性 ○實野 孝久 ¹ 、浜部 薫 ² 、三納 清司 ² 、百崎 太郎 ³ 、田川公 太郎 ³ 、 ¹ 大阪大学 レーザーエネルギー学研究センター、 ² 関西環境管理技術センター ³ 鳥取大学地域学研究科地域創造専攻	59
O27	14:15-14:30	日本人の沙漠に対するイメージと理解—国立科学博物館来場者へのアンケート結果に基づいて ○縄田 浩志 秋田大学国際資源学部	61
O28	14:30-14:45	乾燥地災害学の体系化:4Dプロジェクト ○篠田 雅人 名古屋大学 環境学研究科	63
閉会式:15:00-			

【1日目】ポスターセッション : 2014年5月31日(土) 終日(コアタイム:12:30-13:30)

NO.	題 目 (○は発表申込者)	頁
P01	乾燥地半乾燥地の地表水と地下水における理化学性の特性中国内蒙古自治区阿拉善盟を事例として ○咸泳 植、根本 磯一、吉崎 真司 東京都市大学環境学部	65
P02	乾燥地・半乾燥地での人為的干渉による集積層に関する研究 ○咸泳植、根本 磯一、吉崎 真司 東京都市大環境学部	67
P03	中国の社会経済成長と地域別水資源利用の特徴-2000年以降の特徴に着目して- ○大西 暁生 ¹ 、石峰 ² 、井村 秀文 ³ ¹ 東京都市大学環境学部、 ² 山東省科技発展戦略研究所、 ³ 横浜市立大学	69
P04	インド北西部半乾燥地における畜力揚水灌漑システムの利用とその変容—ラージャスターン南部を事例として ○遠藤 仁 ¹ 、K P シン ² 、宮寄 英寿 ¹ 、田中 樹 ¹ ¹ 総合地球環境学研究所、 ² JRN ラージャスターン ヴィディヤピート大学 インド	71
P05	中国内モンゴル額済納旗の胡楊林の更新特性 ○李 暁剛 ¹ 、李 玉靈 ² 、張 国盛 ³ 、王 林和 ³ 、吉川 賢 ¹ ¹ 岡山大学大学院環境学研究科、 ² 河北農業大学、 ³ 内モンゴル農業大学	73
P06	チュニジア中部におけるローズマリーの過伐採による周辺環境の変化 ○川田 清和 ¹ 、Abderrazak Smaoui ² 、磯田 博子 ³ ¹ 筑波大学生命環境系、 ² ボルジュセドリヤバイオテクノロジー研究センター、 ³ 筑波大学北アフリカ研究センター	75
P07	モンゴル草地における MODIS BRDF データによる植生構造錯乱指数を用いた植生評価 ○五関 大海、島田 沢彦、関山 絢子、豊田 裕道 東京農業大学大学院農学研究科	77
P08	内モンゴル新バルフ右旗における草原の種組成の年変動と放牧圧の関係 ○胡 暁星 ¹ 、上條 隆志 ² 、烏云娜 ³ 、川田 清和 ² ¹ 筑波大学生命環境科学研究科、 ² 筑波大学生命環境系、 ³ 大連民族大学	79
P09	新疆ウイグル自治区イリ・カザフ自治州直轄県市における農産物輸出の現状 ○古澤 文 ¹ 、渡邊 三津子 ² ¹ 愛知大学国際中国学研究センター、 ² 奈良女子大学共生科学研究センター	81
P10	GPS 首輪を用いた長時間の家畜の放牧行動の記録とその意義 ○手代木 功基 総合環境科学研究所	83
P11	スーダン共和国カッサラ州における外来植物メスキート(<i>Prosopis juliflora</i>)の家畜による分布拡大の評価 ○西村 一也、星野 仏方、縄田 浩志 酪農学園大学大学院酪農学研究科	85
P12	中国内モンゴル自治区における退耕還林効果の検証 ○小田 玲実、趙 明宇、星野 仏方、金子 正美 酪農学園大学大学院酪農学研究科	87
P13	つくば市におけるダストパティクルカウンターで観測された2013年3月の砂嵐の粒径特徴について ○杜 明遠 ¹ 、脇水 健次 ² 、真木 太一 ³ ¹ 農業環境技術研究所、 ² 九州大学、 ³ 国際農林水産業研究センター	89

2014 年度 日本沙漠学会

学会賞受賞者記念講演

講 演 要 旨 集
(口頭発表)

講演要旨集
(ポスター発表)

2014年5月31日(土)

14:30-16:00

公開講演会

日本沙漠学会公開講演会

日時:平成 26 年 5 月 31 日(土) 14:15-16:00

場所:東京都市大学横浜キャンパス32A 教室

テーマ:中国の生態環境問題と水環境保全

オーガナイザー: 吉崎真司(東京都市大学)

【趣旨】

今回の公開講演会では、「中国の生態環境問題と水環境保全」というテーマで、3人の先生方に講演をお願いすることにしました。中国の経済発展はめざましいものがありますが、一方ではPM2.5の大気環境問題を抱えており、日中韓三カ国が協力して環境改善に取り組み始めました。最初の井村秀文先生は東アジア、特に中国の経済発展と環境問題をご専門としており、黄河流域の水資源管理についても研究の対象としています。伊坪徳宏先生はライフサイクルアセスメントがご専門で、今回はウォーターフットプリントという視点から環境負荷の削減の見える化について語っていただきます。佐藤先生は、アジア太平洋地域における国際環境協力、持続可能な開発のための教育(ESD)をご専門としており、現在東京都市大学が中国の武漢大学との間で実施している「水環境教育パッケージの開発と人材育成」についてお話をいただきます。

いずれのご講演も、今まで沙漠学会ではあまり取り上げてこなかった内容を含んでいると思いますので、興味あるお話を聞くことができると思います。皆様の積極的な参加をお待ちしています。

【講演タイトル及び講演者等】

講演 1 : **中国の生態環境補償**

14:30-15:00

井村 秀文

横浜市立大学グローバル都市協力研究センター・特任教授

講演 2 : **ウォーターフットプリントと水情報の見える化に関わる国際的動向**

15:00-15:30

伊坪 徳宏

東京都市大学環境学部・教授

講演 3 : **中国武漢・長江周辺域の水保全に向けた環境教育パッケージ教材の開発と人材育成**

15:30-16:00

佐藤 真久

東京都市大学環境学部・准教授



